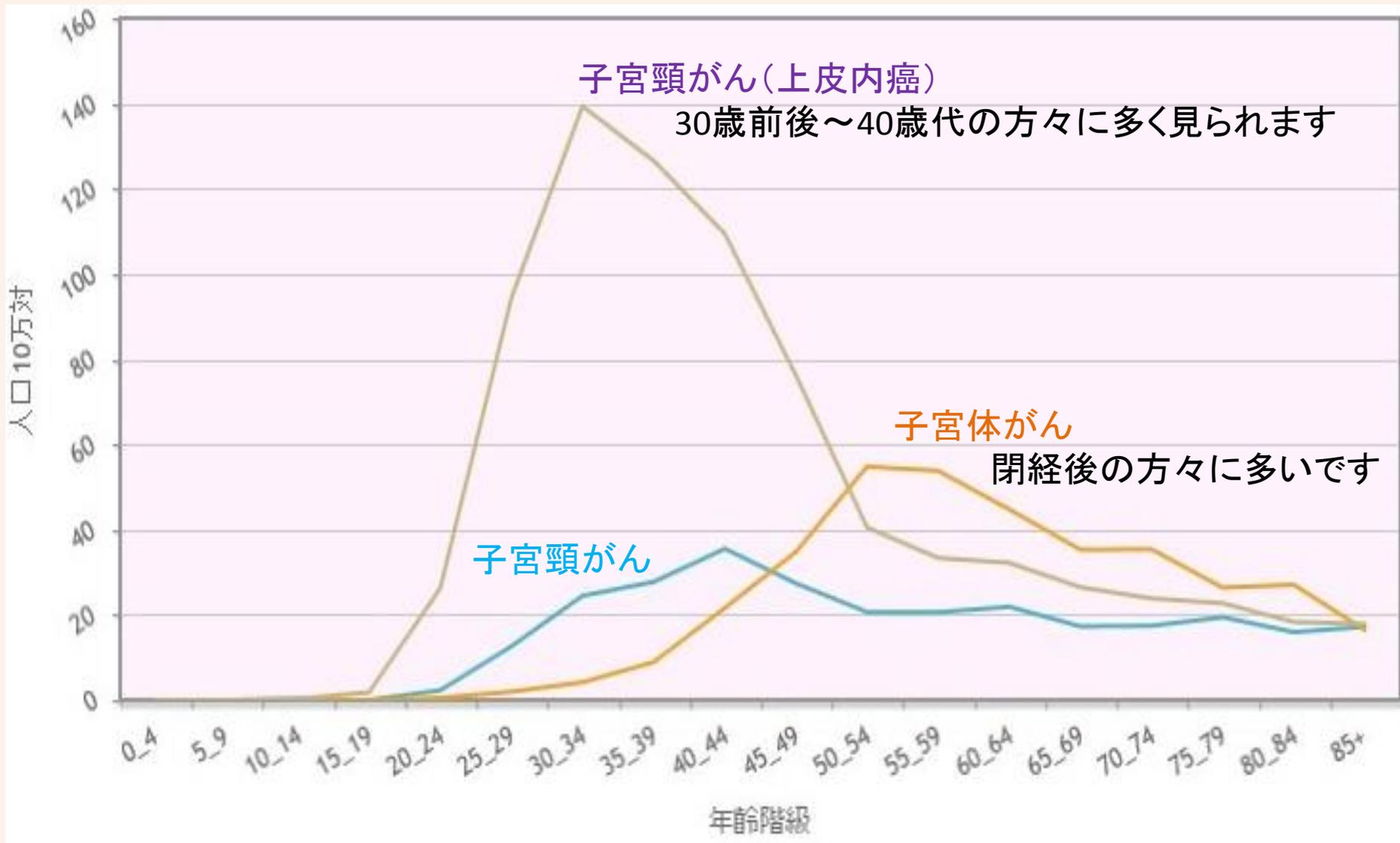


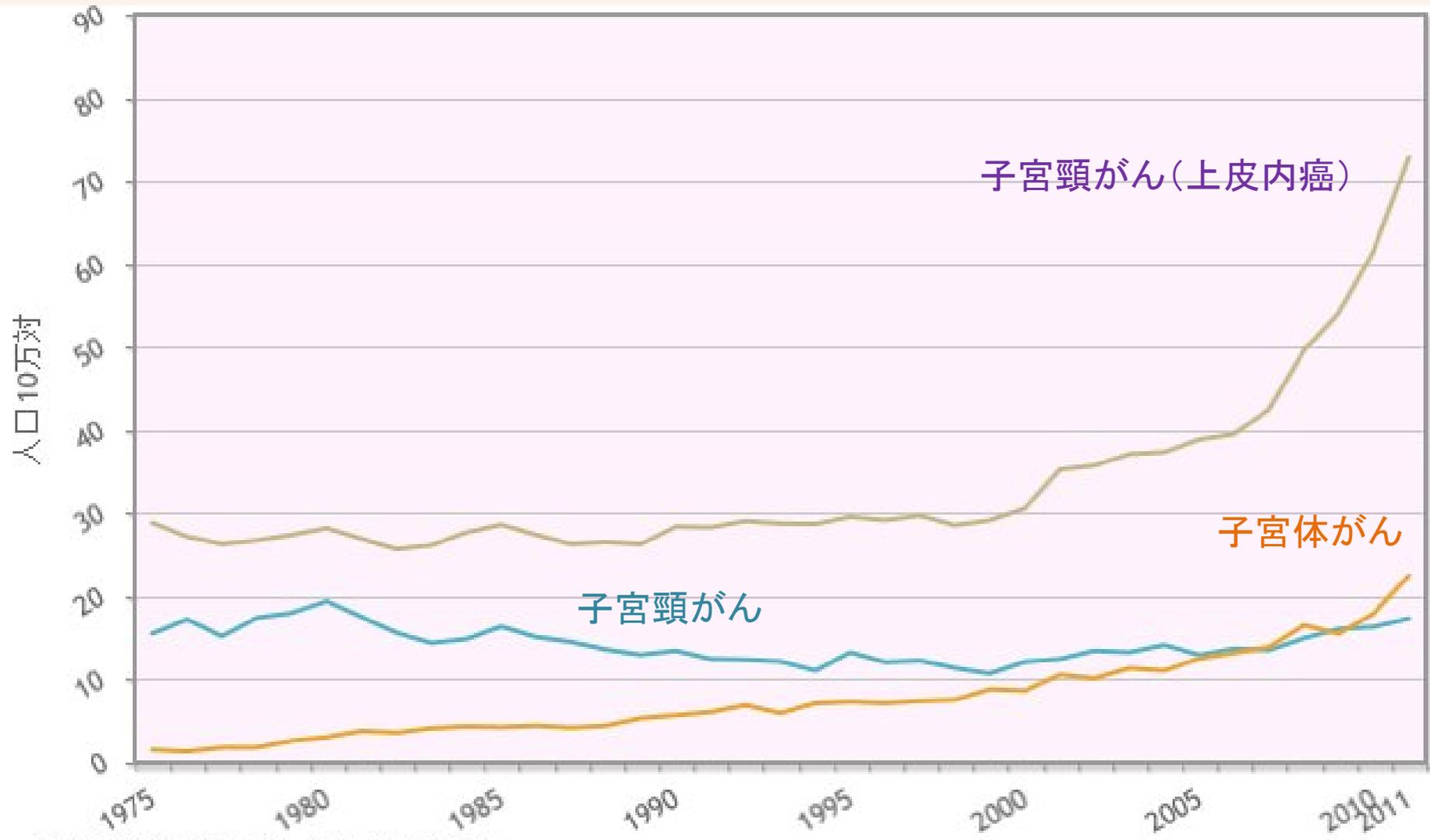
子宮がん検診を
受診しましょう

30歳前後の方々の
子宮頸がんが増えています！

年齢別 子宮がん罹患患者数（全国）



子宮がん罹患患者数（全国） 年次推移

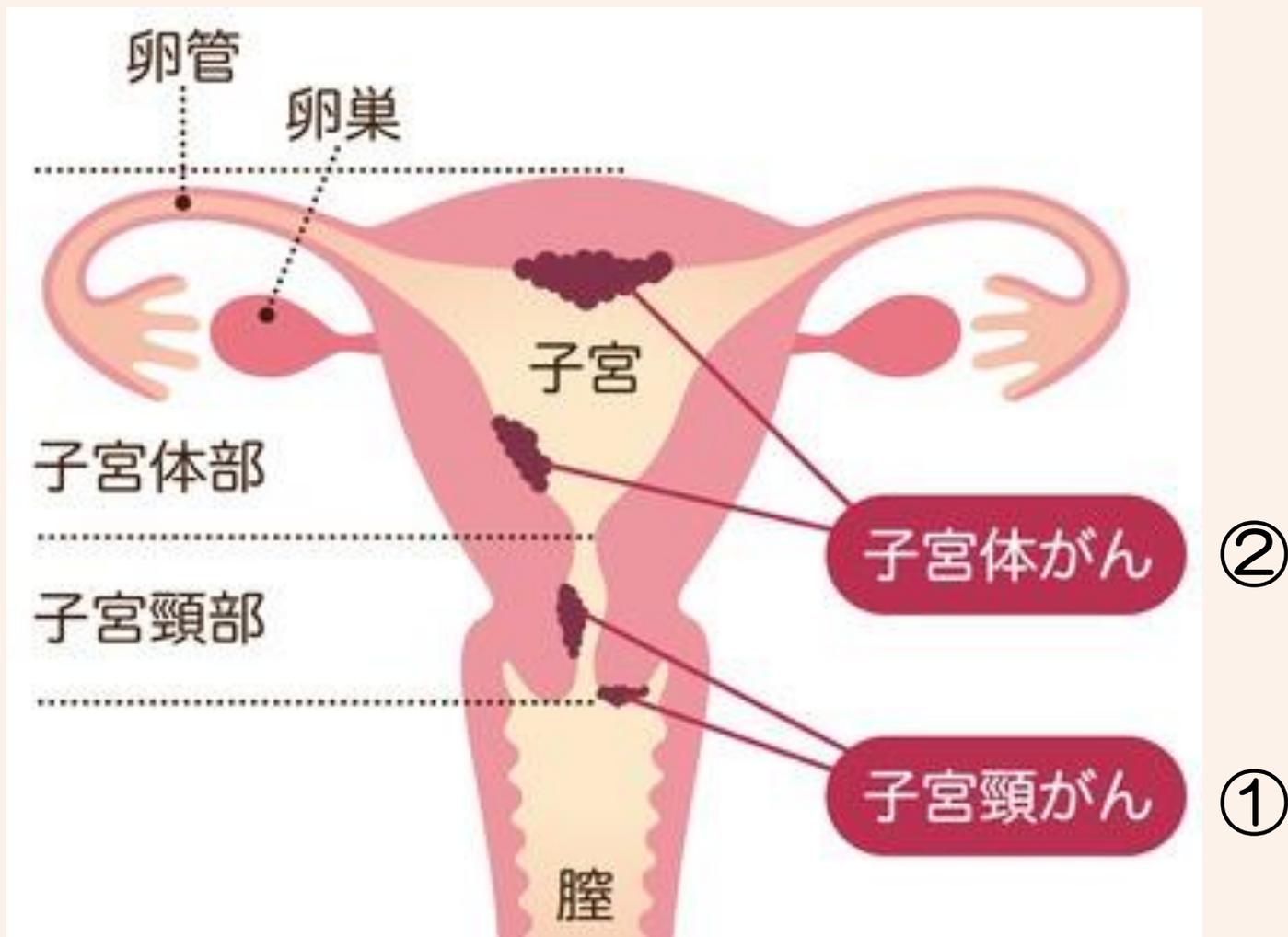


資料: 国立がん研究センターがん対策情報センター より

子宮がんには、

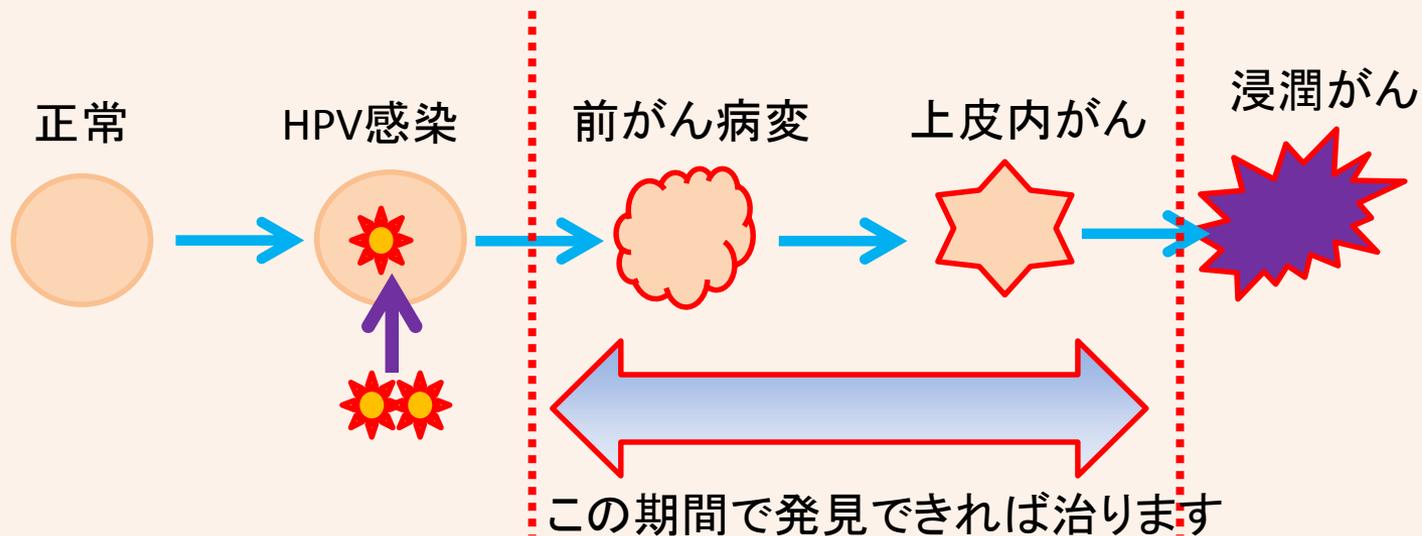
①子宮の入口にできる子宮頸がん

②子宮体部にできる子宮体がん の2つがあります。



①子宮頸がんとは どのような癌ですか？

子宮の入り口にできる がんです。30歳前後の方々に多く見られます。原因は、性交渉によるHPV（ヒトパピローマウイルス）感染です。多くの女性が一生に一度は感染するといわれています。感染しても必ず癌になるわけではありません。HPVウイルスに感染した一部の細胞が前がん病変に移行し、さらに、そのごく一部が浸潤癌になります。



②子宮体がんとは どのような癌ですか？

子宮体部にできる がんです。

不正出血の症状で発見されることが多いです。

特に閉経後の出血症状のある方は、早期に医療機関を受診すべきです。

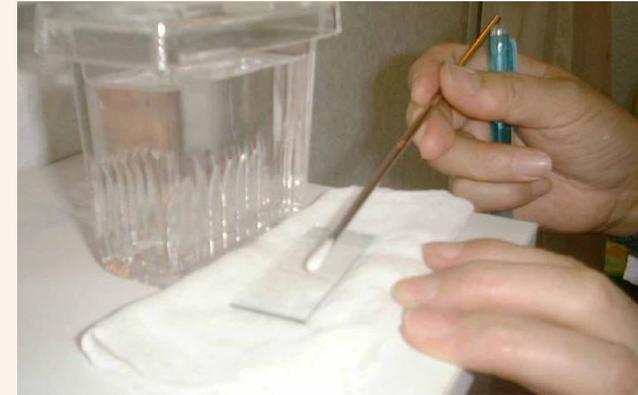
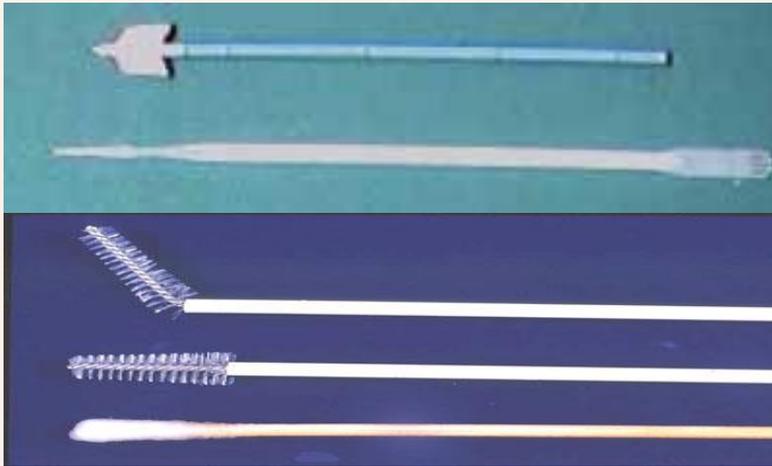
●子宮体がんになりやすい方

乳がん術後のホルモン剤の内服、ホルモン剤の長期内服、未産、肥満、糖尿病、閉経の遅れの方々です。



どのような検査で発見できるのですか？

①子宮頸がんの検査：子宮の入り口を下記の器具で擦り細胞を採取します。



②子宮体がんの検査：子宮体部を下記の器具で擦り細胞を採取します。



③採取した細胞を細胞検査士が顕微鏡で検査します。



皆さんは、今年の検診を受診しましたか？

- 今まで一度も子宮がん検診を受診されていない方
- 近年、子宮がん検診を受診されていない方

上記の事項に心当たりがある方は、是非検診を受診して下さい。

※20代～40代の方々は是非、検診を積極的に受診しましょう！！

子宮がんは、治る病気です。

子宮頸がん検診は、20歳を過ぎたら2年に1回の検診が推奨されております。

- 偶数年齢または奇数年齢の検診で
無料クーポン券などで受診することができます。

各市町村の保健福祉課、健康増進課にご相談して下さい。